

平成29年度 事業計画

平成27年実施の『国勢調査』によると、国の総人口に占める65歳以上の割合（高齢化率）は、調査開始以来最高の26.7%になり、初めて高齢者が4人に1人を超え、前回の平成22年の調査から3.7%上昇しました。行方市におきましても、65歳以上が総人口の31.5%を占め、平成22年の調査以来3.9%上昇しました。

少子高齢化が進む中、働く現役世代の減少に伴い、ますますシルバー人材センターへの期待は大きくなってきております。

つきましては、高齢者が元気で活躍できる環境の整備（就業機会の確保・拡大）、及び、新たな会員募集により後継者の育成を図り、地域の福祉向上と活性化に努めてまいります。

また、平成29年4月から新規事業として、訪問介護事業（訪問型生活支援サービス）がスタートします。この事業は行方市から当センターに委託され、今後、市関係者のご指導ご協力をいただきながら進めてまいります。

平成9年4月11日に社団法人麻生町ミニシルバー人材センターが設立され、本年20周年を迎え、当センターの更なる飛躍と、会員が主体となり、地域に根ざした信頼されるシルバー事業運営のため、以下の事業を行います。

事業計画

(1) 就業開拓提供事業

- ① 公共・民間事業所・一般家庭に対し、就業機会の確保及び拡大に取り組んでいきます。
- ② 派遣事業も今年度三年目を迎え、労働者派遣法に基づき、会員に対し提供できる就業の確保及び拡大に努めてまいります。

(2) 調査研究事業

- ① 新たな就業開拓に必要な会員の技能の質の向上と、就業に対する理解及び知識等の調査を行います。
- ② 会員の現況に関する調査や、発注者への仕事に対する満足度調査等を実施します。

(3) 相談事業

- ① 入会希望者に対する高齢者のため、入会説明会を随時開催します。
- ② 会員の就業相談を役員及び業務推進課が対応し、会員の働きやす

い環境を整え就業拡大に努めます。

(4) 研修会・講習会事業

- ①会員や地域の高齢者を対象に、茨城県シルバー人材センター連合会や行方市と連携し、研修会や講習会を開催します。
- ②会員を対象に、安全就業技術講習会を開催し、会員の就業に対する安全意識と技能の向上に努めます。

(5) 普及啓発活動事業

- ①会員募集及び業務案内等のリーフレットを、市のご協力を得て市発行の広報誌に折込み全戸に配布します。
- ②広報誌「さわやかシルバーニュース」を年2回発行します。
- ③行方ふれあいまつり等イベントに積極的に参加し、役職員での広報活動(リーフレット配布等)を実施します。

(6) 安全適正就業推進事業

- ①安全適正就業委員会及び職員による、定期的に現場パトロールを予告なしで実施し、会員の安全に対する意識を高め事故ゼロを目指します。
- ②就業中の会員の安全と健康を確保し、各会員に対して能力に応じた就業を提供します。

(7) 組織活動・事務局体制

- ①定款に基づく定時総会、理事会の開催と監査を実施します。
- ②事業部会・安全適正就業委員会等を開催し適正な運営に努めます。
- ③県シ連主催等の研修会に参加し、役職員の資質向上を図ります。
- ④事務局の事務の効率化を図ります。

